
ハヤテのごとく! ~ 巨大ログハウスで、マリアが奇跡を起こした。 ~

森神。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハヤテのごとく！〜巨大ログハウスで、マリアが奇跡を起こした。
〜

【Nコード】

N7458D

【作者名】

森神。

【あらすじ】

ハヤテ達がきたログハウスでマリアが誘拐！

（前書き）

読者へ「あくまでも私の想像です」

「うあゝゝハヤテゝ！」

ここは、ナギが思いつきで買ったログハウス（50坪）

（これは、あくまでも私の想像でログハウスは、本編では、出てきません）

朝11時

この広大なログハウスで、ナギの声が鳴り響いた。

「どうしました？お嬢様！」疾風のごとくハヤテが駆け付けた。

お嬢様は、パソコンを開けて、つつ立っていた。

「ハヤテ、圏外たぞ」

「はっ？」

ハヤテは、疑問符を頭に浮かべた。

「だから、圏外だと言っておる」

「圏外とは？」

「もう！鈍いヤツだなゝ、だから、インターネットに接続できんと言っているんだ！」

「ふう」

「なんだ、そのあきれたようなため息は」

「お嬢様、何のためにログハウスを買ったんですか」

「それは、お前と…」

じゃなくて、たまには外出しようかなと思って…」

時はさかのぼる

ふと、ハヤテにイチャつきたくなったナギは、山に行くと言った。

「じゃあ、なぜパソコンを開いているんですか…」
「それは…」

「もういいです。」

あと、そろそろお昼ご飯にしますよ。」

「…わかった」

ハヤテは、ナギの部屋をあとにした。

しばらくして、

「キヤーー」

今度は、マリアさんの悲鳴がした。

ハヤテと、ナギが着いた頃には、マリアの姿は、もう無かった。

机の上には、赤字で書かれたメモがあった。

ナギは、すかさずこう言った。

「ダイニングメッセージ」

「誘拐ですな」

こい言ったのは、死んだ…でわなくて、死んだと思われていた、クラウスさんだった。

「執事長？」

ハヤテは、こう聞き返した。無理も無い、なんせハヤテ自身もクラウスは死んだと思っていたからだ、葬式に出席した記憶だってかすかにある。

「なんだクラウス、この前葬式をやったではないか」ナギもそう思ってたらしい

「勝手に人を幽霊扱いしないでください」
その前に殺されないでください」「まあいい

それより、マリアを探さねば！

まだそう遠くには、行ってないだろう」

「お嬢様、先にダイニングメッセージを解読しましょう。探す方は、SPに任せて！」

ダイニングメッセージには、こう書いてあった。『ある

ない 醤油 酊

塩 コーヒー

酢 油

砂糖 紅茶

4h 『うーん』全員首を傾げていた。

なんせマリアは、名門校を飛び級して3年で卒業した天才、当然？ダイニングメッセージも知的であるはず

「あつ、もしかして、あるは、全部初めに『お』をつけれるじゃ無いですか？」

初めに答えたのは、ハヤテだった。が、ナギが

「コ○ンだ！ハヤテ、そんな簡単に答えらては、おかしいだろう。第一あの『4h』はなんなのだ。」

「……」

ハヤテは、だまりこんでしまった。次にクラウドが口を開いた

「ふふふふ、この暗号は、知的だ、『4h』だけがダイニングメッセージで後はカモフ……」

「バシン！」

ナギが、クラウドをハリセンでしばき倒しながらこう言った。

「わかったぞ！あるは、すべて『さ行』だ、そして、『4h』ではなく『4H』に変換『4H』は、どちらの字も左右対称なので反対にしても同じと言う意味で、『さ行』で反対にしても同じなのは、

『サ』だ！」

「凄いですね〜お嬢様、で、その『サ』の意味はなんなんですか？」

「うーん」

「はっ！」

「お嬢様！わかりました！」

『サ』は、『SA』と言う意味ですよ！執事長そう言う組織ありませんでしたっけ」

「あー、確かにあったな

たしか、国際テロ組織で」

「ということは、国際テロ組織が日本に來ていると言う事だよな！
クラウス、自衛隊を配備しろ！」

「わかりました」

しばらくして電話のベルがなった。

「はい、もしもし三千院家ですが？」

ハヤテが電話を取った

「このことを返して欲しければ、潮岬の3番コンテナへ、来い」

「えっ」

電話は、切れた。

「何だったのだハヤテ？」

「誘拐犯からです」

「マリアを返して欲しければ潮岬の3番コンテナに來いと……」

「よし、そこに自衛隊を向かわせるぞ、クラウス」

「はい」

ふと背後でチャイムが鳴り響いた。

そして、

「あら？皆さんお揃いで何かあったんですか？」「マリアさん！！！！」

「マリアさん誘拐されたんじゃない」

「へ」

マリアさんは、キョトンとしている

「じゃあマリア、このダイニングメッセージは、何なのだ？」

「えっ、これは、買い物をしに行く時に何がいるのか書いたメモで

す」

「でわこの『4h』は、何なのだ」

「これは4時までには帰ると言う意味ですけど」

「まあ、一見落着と言うことですね」

マリアのお騒がせ事件には合計1億2000万円かかりました。

完全

（後書き）

感想を書くんどうぞ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7458d/>

ハヤテのごとく!～巨大ログハウスで、マリアが奇跡を起こした。～

2010年10月10日01時35分発行